

令和8年度 8 月 定例教育委員会会議録

令和 8 年8月18日(火)

山梨市教育委員会

令和8年度8月 定例教育委員会 議事録

令和8年8月18日(火)午前10時から、山梨市役所西館401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 4 協議事項
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	竹川 和彦
教育長職務代理人	相沢 季里
教育委員	原 喜雄
教育委員	織田 久美子
教育委員	新谷 時男
教育委員	武井 多加志

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	星野 正裕
学校教育担当 指導主事	齊藤 和裕
学校教育担当 指導主事	平山 直樹
学校総務担当 リーダー	小野 恵美
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	山村 純
学校総務担当(議事録作成者)	小澤 有希

生涯学習課 課長	雨宮 有
生涯学習担当 リーダー	坂本 章子

4 協議事項

(1) 笛川学園校舎整備について

学校管理担当シ 紙資料に基づき説明

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

(2) 第1回生活いじめアンケート集計結果について

平山指導主事 資料Iに基づき説明

教育長 何かあるか。

原委員 聞き取り調査は誰と行ったのか。また、単に件数を見るだけではなく、クラス単位で前年度と比較することで、いじめが多い傾向のクラスであるか否か判断できるので、検討いただきたい。また、いじめが継続したケースはないとのことだが、いじめ解決の取り組み内容について教えていただきたい。

平山指導主事 聞き取り調査は生徒指導主事や担任と行った。前年度との比較は検討する。また取り組み内容としては、前年度の継続したケースについては、1人が複数人に対していじめをするなど、特別な支援が必要な子どもが多かった。このような場合は、こども・子育て課との協力や、センター的機能を活用し解決に至った。

武井委員 中学校ではスマートフォン、パソコンは持ち込みを許可しているのか。また、中学生のメッセージアプリ使用状況や指導について教えていただきたい。

平山指導主事 スマートフォンやパソコンは原則持ち込み不可である。ただし、事情がある場合は、朝担任に報告し持ち込み可能としている。使用状況としては、ほぼ全生徒がメッセージアプリを使用しているが、学校から指導はしていない。

- 武井委員 ほぼ全生徒がメッセージアプリを使用しているにも関わらず、スマートフォン、パソコン関連のいじめが0件なのは、持ち込み禁止としていることから、生徒は該当しないと回答したのではないか。
- 平山指導主事 SNS関連のトラブルは発生しているが、いじめに該当するかは本人の認識によるため、0件になったと考えられる。
- 武井委員 メッセージアプリやSNSについて学校は関与しないのか。
- 平山指導主事 学校外の事案なので学校側が把握することは困難という状況である。ただし、SNS上のトラブルは深刻な事態に発展した時点で学校側が把握することも多く、そのような場合は学校も対応している。
- 武井委員 高校生でも、SNS関連で犯罪に巻き込まれるケースが発生しているので、中学生で0件という結果は不自然と思われる。
- 教育長 今回の調査では、いじめと認知していないが、メッセージアプリのトラブルは発生しているため、各学校重要な課題として取り組むべきである。また、SNS関連の講習会も毎年開催しているが、保護者の課題認識が薄い状況である。市としても重要課題として対応を考える必要がある。
- 新谷委員 中学生の相談相手は誰なのか。AIに相談することはあるのか。
- 平山指導主事 中学生の相談相手は家族、友人、先生という回答が多かった。AIに相談するといった回答はなかった。
- 新谷委員 中学生になると、保護者よりも友人に相談することが多くなると思われるが、割合はいかがなものか。
- 平山指導主事 相談相手の割合については把握していない。

新谷委員 以前、新聞で、子どもの頃にいじめを受けた経験のある 40～50 代の人は、相談相手がいた人に比べ、相談相手がいなかった人の方が、いじめによる後遺症が残っている割合が高いという記事を読んだ。このことから、相談相手の有無は非常に重要であると思う。

教育長 いじめについて相談ができることは、はととても重要であるため、相談窓口の啓発活動に取り組んでおり、SOSの出し方教育を通じ、子ども、保護者に周知している。また、学校関係者向けに子どもの自殺予防の学習会も開催している。

(3) 全国学力・学習状況調査の結果について

平山指導主事 紙資料に基づき説明

教育長 何かあるか。

原委員 調査結果の所感として、一点目は「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対し、小・中学生ともに90%近く当てはまると回答している。中学生になると割合が低下する傾向があるが、本市ではそのような結果となっていないので、生徒が楽しく過ごせるよう取り組んでいることが伺える。二点目としては、子どもの勉強に対する「好き」や、「分かる」という気持ちはとても大事なので、今回の数値を元に、各教科の「好き」と「分かる」の数値を伸ばせるよう学校は取り組んでいったらよいと思う。

相沢委員 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に対し、中学生の90%以上が当てはまると回答していることから、社会で活用する英語を教材に取り入れることで、生徒のモチベーションアップにつながると思う。また、市内中学校での英語教育の取り組みが正常であると実感した。

教育長 情報共有が重要と考えるので、学校間で取り組み状況を共有できる方法を検討する。

(4) その他

教育長 何かあるか。

事務局 特にない。

教育委員 特にない。

5 報告事項

(1) 中学生海外研修について

教育長 資料2に基づき説明

研修に参加した生徒9人の経験に留まらず、学校教育全体に活かせる
とよいと思う。また、今回の研修は主幹課が地域資源開発課であり、
学校外の事業であるため、教育委員会は関わっていない。しかし、
参加生徒がよりよい経験ができるよう、指導主事が事前資料を作成
するなど、将来的には教育委員会が関われるよう課題共有していきたい。
意見等あるか。

教育委員 特にない。

(2) 教育振興基本計画策定について

学校教育課長 口頭説明

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

(3) 各種委員会の進捗状況について

平山指導主事 資料3に基づき説明

齊藤指導主事 資料3に基づき説明

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

(4) その他

教育長 何かあるか。

事務局 特にない。

教育委員 特にない。

6 連絡事項

(1)～(3)教育委員の予定について

小澤書記 次第記載に基づき説明

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

(4) 中学校学園祭、幼稚園・小学校運動会について

小澤書記 次第記載に基づき説明

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

(5) その他

教育長 何かあるか。

教育委員 特にない。

教育長 以上で議事を終了する。